

2022年3月22日

各 位

上場会社名 東洋建設株式会社
 代表者 代表取締役社長 武澤 恭司
 (コード番号 1890 東証第一部)
 問合せ先責任者 執行役員経営管理本部総務部長 佐藤 護
 T E L 03-6361-5450

2022年3月期業績予想及び中期経営計画の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2022年2月8日に公表した2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の連結・個別業績予想並びに2020年3月25日に公表した「中期経営計画～Being a resilient company～〈2020-2022〉」（以下「中期経営計画」といいます。）及び2020年5月26日に公表した「2020年3月期決算説明会資料」における2023年3月期の目標数値について下記の通り修正することを決議しましたので、お知らせします。

記

1. 2022年3月期業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

(1) 連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当 り当期純 利益
前回発表予想 (A)	百万円 170,000	百万円 9,200	百万円 9,100	百万円 6,000	円 銭 63.85
今回修正予想 (B)	152,282	8,939	8,834	5,962	63.44
増減額 (B)-(A)	△17,718	△261	△266	△38	
増減率 (%)	△10.4	△2.8	△2.9	△0.6	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	172,976	14,259	14,103	9,176	97.65

(2) 個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当 り当期純 利益
前回発表予想 (A)	百万円 152,500	百万円 8,100	百万円 8,100	百万円 5,600	円 銭 59.59
今回修正予想 (B)	137,650	8,088	8,132	5,610	59.70
増減額 (B)-(A)	△14,850	△12	32	10	
増減率 (%)	△9.7	△0.1	0.4	0.2	

(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	154,798	12,983	12,832	8,487	90.32
--------------------------	---------	--------	--------	-------	-------

(3) 業績予想修正の理由

① 個別業績予想

売上高は、国内土木事業において注力していた大型案件の受注時期のずれや失注による当期受注工事の減少、国内建築事業において設計施工案件が当初想定よりも着工までに時間を要したことなどにより、当初予想を148億円下回り、1,376億円となる見込みです。

各利益は、かかる売上高の減少に伴いそれぞれ減少する見込みです。

② 連結業績予想

主に個別業績予想の修正に伴い修正するものですが、売上高は、海外の連結子会社において当初想定よりも工事の着工が遅れたことなどにより、当初予想を177億円下回り、1,522億円となる見込みです。

2. 中期経営計画における2023年3月期の目標数値の修正

(1) 目標数値の修正

(単位：百万円)

	計画数値（連結）			計画数値（個別）		
	前回予想	今回予想	増減額	前回予想	今回予想	増減額
売上高	177,000	185,346	8,346	160,500	164,000	3,500
営業利益	12,800	10,334	△2,466	11,200	8,800	△2,400
経常利益	12,600	10,308	△2,292	11,200	8,840	△2,360
親会社株主に帰属する 当期純利益／当期純利益	8,300	6,783	△1,517	7,600	6,133	△1,467

(2) 目標数値の修正理由

中期経営計画の検討及び策定時（2020年3月期）において、新型コロナウイルス感染症の拡大・長期化による影響については、その影響の大きさ、範囲や期間が不確実であることから反映しておりませんでした。

今般、2022年3月期の国内土木・国内建築・海外建設の受注状況や、原油・資材価格の高騰など足元の経済情勢に鑑み、売上高及び各利益について見直しを行ったものです。

以上

将来の見通しについて

当社グループが開示する業績予想、戦略、目標等のうち将来の見通しに関する記述は、当社グループがその時点で入手している情報及び合理的であると判断される一定の前提を根拠としており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。